

日本退職教職員協議会
関東ブロック近県各単会 会長 様

日本退職教職員協議会
会長 西澤 清

憲法と「建国記念の日」を考える 2. 11 集会開催について(参加要請)

連日のご健闘に心より敬意を表します。

2015 年、戦後 70 年は、日本の市民社会全体が「戦争法」反対のとりくみに全力でぶつかりました。しかし安倍政権は世論を一顧だにせず日本社会を戦前に回帰させるがごとく暴走を続けています。

昨年 11 月 10 日には、「日本会議」が主導する憲法改正への集会が日本武道館で開催され、安倍首相は「憲法改正に向けて、ともに着実に歩みを進めてまいりましょう」とビデオメッセージで呼びかけています。来夏の参議院議員選挙で憲法改正の発議に必要な 3 分の 2 の議員数を確保したならば、憲法改正への動きは加速化するものと考えられます。地域社会においては、育鵬社版中学歴史教科書の採択運動を通じて、「日本会議」の動きが活発化しています。侵略戦争と植民地支配をアジア解放の戦いと位置づけ、家父長制と階級制を基本にした儒教的・封建的社会制度を求める「日本会議」の誤った思想は、ヘイトスピーチなどに代表される外国人蔑視と夫婦別姓排除などの女性差別、道徳の教科化いわゆる修身の復活などに見られる天皇制を基本にした上意下達の社会構造をつくり出さんとしています。そのことこそが戦争への道につながることは明らかです。

2 月 11 日、上杉聰さんをお招きして、「日本会議」の草の根の動きを明らかにし、私たちの今後を考えていきたいと思えます。当日は、「日本会議の実態、そのめざすもの」や育鵬社教科書の内容を考える資料を配付する予定です。是非ご参加いただくようよろしく願いいたします。

記

- 1 名称 憲法と「建国記念の日」を考える 2. 11 集会
「個人より国家」を私たちは許さない!
- 2 日時 2016 年 2 月 11 日(木) 13 時～15 時 開場 12 時 30 分
- 3 会場 日本教職員会館 8F 第一会議室
- 4 主催 フォーラム平和・人権・環境(平和フォーラム)
- 5 参加費 500 円(資料代を含む) (参加者各自でお納めください。後日旅費とともに振り込みます。)
- 6 内容 (1)主催者挨拶 平和フォーラム代表：福山真劫さん

(2) 講演 「日本会議と地域社会－日本国憲法と教育の危機」
上杉 聡さん（日本の戦争責任資料センター事務局長）

(3) 報告 「朝鮮高校への授業料無償化適用を求めるとりくみ」
キム・ウギ（在日本朝鮮人人権協会）

(4) まとめ 平和フォーラム事務局長：藤本泰成

7 参加要請 関東ブロック近県単会各1名（千葉・千葉高・埼玉・東京・東京高・神奈川・神奈川高）

以上